

高齢者の運転免許返納 と その生活の支援

-認知症になってもやさしい わがまち三島-



三島市介護支援専門員連絡協議会 地域づくり部会

「認知症運転免許返納支援バス-2021年12月作成」

～はじめに～

「〇〇さん、認知症かもしれない…。」

それは〇〇さんと関りがある一人の福祉関係者の声から始まった。

本人には認知症の自覚はない。周りの誰かが気づいて対応するしかない。

心配した通り〇〇さんは認知症だった。

〇〇さんは高齢ドライバーである。

運転は大丈夫か？ 事故を起こしてしまうのでは？

運転免許を返納したほうが良いではないか？

高齢者にとって、運転免許証の返納は重大なことである。

自動車がないと買物や通院などの移動が簡単にできなくなってしまう。

しかし、事故を起こせば他人を傷つけ、不幸にしてしまう恐れがある。

せっかくの人生の総仕上げも台無しになってしまう。

認知症でなくとも、高齢になり年齢を重ねると、多くの方は身体や感覚等が衰え、車の運転が難しくなります。いつかは免許の返納を考えなくてはならない時期が訪れます。

が、それを判断するタイミングはとても難しいと思います。

周囲の方からの一声が大事になることもあります。

本人の判断だけでは難しく、本冊子は高齢ドライバーの運転免許返納と、その後の生活の支援を考えるヒントになればとの思いで作成をしました。

高齢ドライバーの方はもちろん、ご家族、介護に携わる方、その他多くの方にご一読頂ければ幸いです。



目 次

- 1. 運転事故の予防をしたい！**
- 2. 認知症の方の運転事故を予防したい！**
- 3. 免許返納後の生活が心配なら・・・**
- 4. 地域の社会資源を活用しましょう！**
- 5. 地域の相談窓口を知ろう！**

1.運転事故の予防をしたい！

◆ 高齢者特有の運転リスクを知りたい！



(1) 視力機能の低下

年齢を重ねるに従って視野が狭くなっていく傾向があります。そして、動体視力も年齢とともに低下していきます。若いころには見えていたものが見えないこともあるのです。また、目で見てものを判断するには、対象物の明るさだけでなく、周囲のコントラストの違いが重要になります。特に夕暮れや夜明け時などはコントラストが小さいものを見分けることが難しくなります。正確な距離判断も困難になります。

(2) 聴覚機能の低下

加齢とともに高い周波数が聞こえにくくなり、聞き返すことが多くなります。聴覚が衰える初期段階では、「さ行、は行」などの歯擦音と呼ばれる高い周波数を多く含む音が聞きづらくなります。聞きとりにくいがゆえに、ラジオやカーステレオの音も大きくなりがちで、周囲の車のクラクションに気づくのに遅れることや、追い越していく車に気づけずにヒヤリとすることが増えています。



(3) 動作の速さ、安定性の低下 認知・判断力の低下

車庫入れに失敗する・センターラインを越える・路側帯に乗り上げる・カーブをスムーズに曲がれない・複数の情報処理をすることが苦手になる。



・瞬時に判断ができずに遅れてしまう。判断や決定する情報の処理に時間がかかるてしまう。など、その作業の速さや判断の正確さが低下していきます。

◆ 予防的な運転を知りたい！

(1) 夜間や雨天での運転はできるだけ控えましょう！

視力の衰えで暗いところでの安全認識が難しくなることや、青色が見えにくくなる傾向があります。

(2) 前方を見渡して信号や標識を早目に確認する習慣を！

視野の狭まりで、信号や標識を見落として大変な事故になることもあります。

(3) スピードを控え、車間距離を十分確保し、早目のブレーキを！

瞬発力や脚力の低下から、ブレーキを素早く強く踏み込めないこともあります。

(4) 交差点は情報量や注意する点も多いので、焦らず周囲をしっかり確認しましょう！

複数の事を同時に処理しづらくなり、右左折時に焦ることから、安全運転が疎かになります。

(5) 右折時は、対向車が途切れるまでしっかり待ちましょう！

距離感・スピード感が捉えにくく、つい見込み右折をしてしまいがちです。

★ご自身で、運転を見直し(評価)してみませんか?
セルフチェック 運転免許チェックリスト ※最後のページにあります

★ご自分の運転に自信があるかもしれませんか、今の運転をご家族と一緒に見直してみませんか?

主な相談先 静岡自動車学校 沼津校 あなたのドライビングドクター (D&D)

★自主的に運転免許を返納したい!

主な相談先 静岡県三島警察署 交通課交通係
東部免許センター

2.認知症の方の運転事故を防止したい!

◆ 認知症が疑われる運転を教えて!

自分は今どこにいるのか
どこへ向かって運転しているのか
何のために運転しているのか



行方不明
長時間運転で疲弊し、物損事故や
人身事故を起こしてしまう

◆ 認知症と診断された場合どうなるの?

(1) 道路交通法上の「認知症」とは

・脳血管疾患（脳梗塞、脳出血など）、アルツハイマー病、その他の要因に基づく脳の器質的（臓器の損傷など）な変化により日常生活に支障が生じる程度にまで記憶機能及びその他の認知機能が低下した状態のことです。

(2) 道路交通法では運転者が「認知症」であると判明した場合

・公安委員会により「運転免許を取り消す」又は「免許の効力を停止する」と定められています。

◆ 道路交通法における認知機能検査について

◆ 75歳以上の高齢運転者の免許証更新時「認知機能検査」をします。
検査を受検し、検査結果で分類判定（第1分類～第3分類）されます。

◆ 基準行為として定められた違反行為をした場合は「臨時適正検査」が実施されます。

◆ 認知症が疑われる場合、どうしたらよいか？

(1) 出来る限り早く医療機関を受診し、正確な診断を受けましょう！

★かかりつけの医療機関が無ければ精神科、心療内科、脳神経科等に受診になります。

主な相談先

①認知症サポート医 (三島市における認知医療の中心的役割を担う医師)

広小路クリニック
三島共立病院

②認知症サポート医・認知症かかりつけ医

(認知症に関する知識、理解を持ち、地域で認知症の人や家族を支援してくれ医師師)

田内内科医院
芝本町クリニック
みしま岡クリニック
三島総合病院
三島えんどうクリニック
三島中央病院

③認知症疾患医療センター

(地域における認知症疾患の保健医療の向上を図る機関です)

NTT 東日本伊豆病院
静岡医療センター
ふれあい沼津ホスピタル

・他、三島市の病院でも認知症かかりつけ医の Dr. はあります。まずは主治医にご相談ください。

(2) ご本人が診察拒否をした場合・・

- ・健康診断に行こうと説明してみましょう。
- ・家族の検査に付き添って、一緒に受けてほしいと説得してみましょう。
- ・ご本人の信頼する人、**かかりつけ医**に必要性を説明してもらいましょう。

その他の相談先

地域包括支援センター三島
三島北地区地域包括支援センター
北上地区地域包括支援センター
錦田地区地域包括支援センター
中郷地区地域包括支援センター

★一人で抱え込まないで早めに相談してみるのも大事です。

(3)運転することが危険だと思ったら・・・

①運転が危険だと感じた場合、運転を継続することは望ましくありません。

ご本人の安全確保を第一に考えましょう！

②運転者自身が危険性を認識していない場合

・運転を継続しようとすることがあります。

③運転免許を返納しても

・免許がないことを忘れて、運転することがあります。

★ご家族で対応が困難な場合には

主な相談先

三島警察署 交通課交通係

3.免許返納後の生活が心配なら…

◆ 運転する目的や意味を理解したい

ご本人が、運転を継続しなければならない理由を確認しましょう。
つまり、自動車を運転する「目的」や「意味」について考えることです。

(1)自動車運転の目的は何でしょう？

高齢者では

- ・日用品の買い物
- ・通院
- など



(2)自動車を運転する意味はなんでしょう？

移動という目的以外にも

- ・楽しみ
- ・気分転換
- ・運転できることの誇りや自信
- など



(3)自動車運転をやめるのに障害となる理由や要因は何でしょう？



- ・物忘れがあるという認識がない。
- ・趣味や楽しみを取り上げられてしまうことに対する抵抗。
- ・自分の行動を制限されることへの反抗。
- ・家族がやめさせることに対して罪悪感があり、あきらめてしまう。

運転を中止することで、ご本人やご家族の関係性、生活に影響があります。

しかし一方で、運転を中止することで交通事故を起こすような危険性はなくなり、みんなの安全を守ることにもつながります。

やめることを無理強いする

移動の代替手段のみ押し付ける

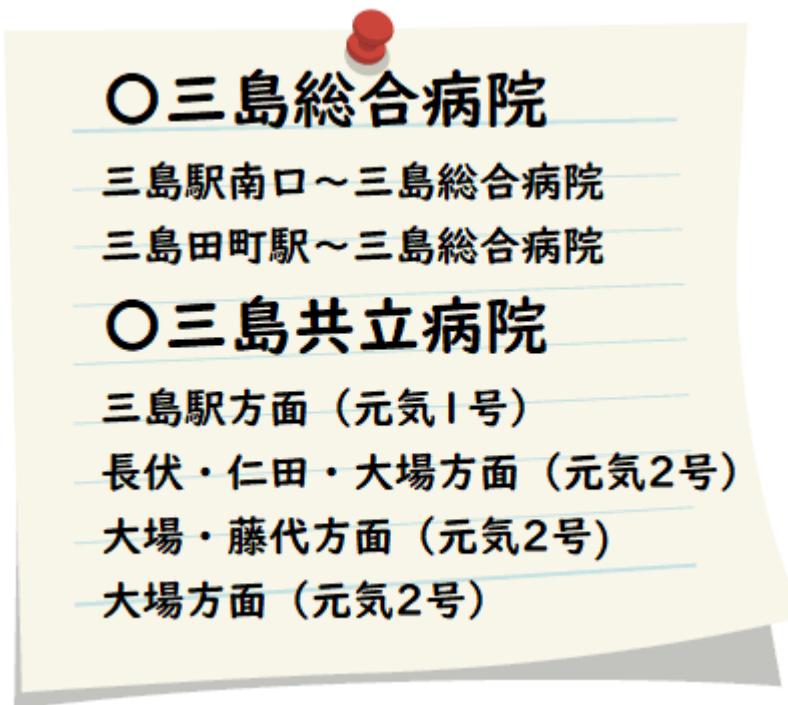


本人の運転の目的や意味を叱りと把握し、理解する
本人の運転の目的や意味を尊重する
解決方法を本人と一緒に考える

4. 地域の社会資源を活用しましょう！

病院や福祉施設の送迎バス

■下記の病院へは、無料送迎バスに乗って出かけましょう。



■デイサービスなどの福祉施設は、送迎が付いています。
仲間と共に頭と体を動かすにはもってこいです。
介護保険を使うのでケアマネさんや施設の方に確認しましょう。

■三島市免許返納支援事業



免許を返すと
どんな特典が
あるのかなあ？

市内の移動は助成で！

70歳以上の高齢者が自主的に運転免許を返納し申請するとバス・タクシーなどで利用できる1万円分の助成券が交付されます。

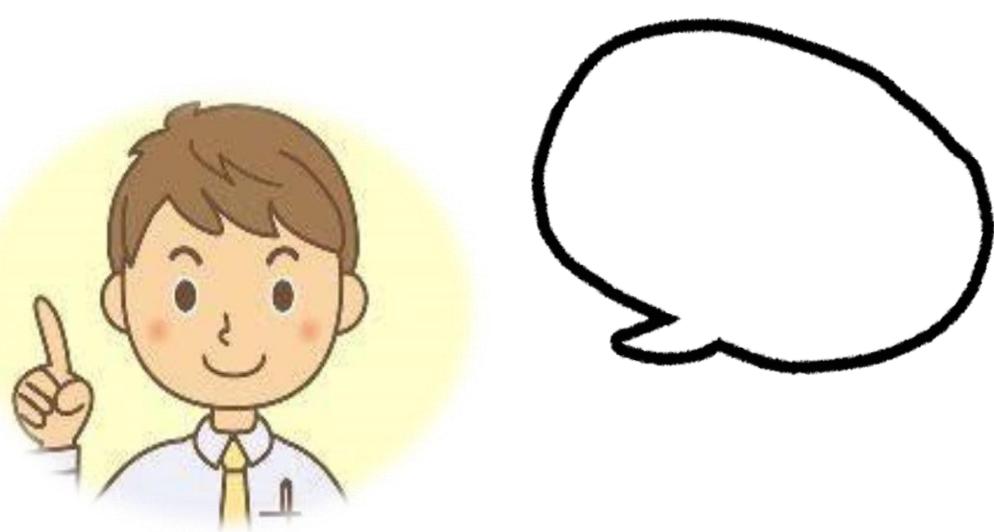


1万円分の助成券で利用できる乗り物

- 乗合バス…せせらぎ号・なかざと号
きたうえ号・ふれあい号
- 路線バス…伊豆箱根バス
富士急シティバス
東海バスオレンジシャトル
- タクシー…三島合同タクシー
富士急静岡タクシー・伊豆箱根タクシー
伊豆箱根交通・ベルタクシー
平和タクシー・風タクシー
- 鉄道…伊豆箱根鉄道駿豆線

5. 地域の主な相談窓口を知ろう！

(1)運転をご家族と一緒に見直したい	①静岡自動車学校 沼津校
(2)自主的に運転免許を返納したい	②静岡県三島警察署交通課交通係 ③東部免許センター
(3)認知症か心配である	④かかりつけ医 ⑤認知症サポート医・認知症かかりつけ医
(4)受診を拒否した場合	④かかりつけ医 ⑤担当ケアマネジャー ⑥地域包括支援センター
(5)運転するのが危険な場合	②静岡県三島警察署交通係
(6)免許返納後の生活が心配	⑤担当ケアマネジャー ⑥地域包括支援センター ⑦民生委員



～終わりに～

認知症運転免許返納支援について三島市介護支援専門員連絡協議会の企画で
医者・警察・弁護士・行政の方とパネルディスカッションを開催しました。
その後、日本介護支援専門員協会主催、三島市介護支援専門員連絡協議会後援で
市民フォーラムを開催し好評を頂き、そして今回、小冊子の発行となりました。

これから高齢化社会が進み、また認知症の方の増加に伴い、認知症運転免許返納
の問題は益々深刻になると考えられます。

この冊子を皆様に読んで頂き、認知症の方の運転免許返納支援とその後の生活の
手助けになれば幸いです。

そして、高齢者の方が運転免許を返納しても誰も置き去りにしない住みやすい
街づくりを目指して行きたいと思います。

三島市介護支援専門員連絡協議会 地域づくり部会

相澤麻輝 石渡有可 梅原利光 久保寺直喜
斎藤都子 柴田智子 鈴木康明 松田敬子

「認知症運転免許返納支援パス－2021年12月作成」

運転時の認知機能の低下に関するチェックリスト



■運転をしていて、**ヒヤリ**とすることや**ハッ**とすることが増えていますか？

- 車のキーや免許証などを探し回ることがある
- 道路標識の意味が思い出せないことがある
- スーパーの駐車場で自分の車を停めた位置がわからなくなることがある
- よく通る道なのに曲がる場所を間違えることがある
- 車で出かけたのに他の交通手段で帰ってきたことがある
- 曲がる際にワインカーを出し忘れることがある
- 反対車線を走ってしまった（走りそうになった）
- 右折時に対向車の速度と距離の感覚がつかみにくくなつた
- 車間距離を一定に保つことが苦手になつた
- 駐車場所のラインや枠内に合わせて車を停めることが難しくなつた
- 交差点での右左折時に歩行者や自転車が急に現れて驚くことが多くなつた
- 運転しているときにミスをしたり危険な目にあつたりすると頭の中が真っ白になる
- 同乗者と会話しながらの運転がしづらくなつた

3つ以上の項目にチェックが入る方は要注意です。運転を中止できるように、粘り強く話し合いましょう。

